

## 教材・支援機器活用実践事例【ICT】

## 友達と協働的に学ぶ機会を保障するための ICT 活用 「Web 会議室システムを活用した地域の小学校との教科交流」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校 小学部 6 年（通常学級）
	障がい名等	病弱
	子どもの実態 （学習上又は生活上の困難さ等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気のため抵抗力が低く、感染症予防の観点から集団活動の際には特に配慮が必要である。</li> <li>・学部の在籍児童数が少なく、学級の在籍数も本児 1 名であることから、日常的に友達と共に学び、多様な考えに触れる機会が少なくなりがちである。</li> </ul>
授業について <small>（教材・教具を使用した授業や指導場面）</small>	教科名等	算数科
	単元(題材)名	単元名「割合の表し方を調べよう」
	単元(題材)の概要	比の意味とその表し方について知る。
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室と相手校を Google Meet で繋ぐ。</li> <li>・活動内容に応じて、通信機器を切り替える。</li> </ul> 
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校の同学年の児童と同時双方向型の学習をすることで、集団での学習の雰囲気を感じることができる。</li> <li>○友達の多様な考え方や学び方に触れたり、自分の考えを広げたりすることができる。</li> </ul> <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでの話し合い活動の場面では、PCからタブレットに通信機器を切り替えて、グループ内の個々の児童の活動の様子や発言を詳細に捉え、共有することができるようにした。</li> <li>・事前に相手校と支援機器の活用についてのねらいや使用法等について共通理解を図るとともに、授業当日は本校教員が相手校に出向き、支援機器の設定、通信状態の確認・調整等の支援を行った。</li> </ul>
	材料・作成方法等	タブレット端末、アプリ（Google Meet）、ポケット Wi-Fi PC、マイク
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と共に学ぶ雰囲気を感じることができた。オンラインでの学習であることで、集団での学習の経験が少ない本児にとっても安心感があり、自信をもってやり取りをしたり、学習に取り組んだりすることができた。</li> <li>・小学校の児童の発言を聞いて共感したり、驚いたり、友達の考えと自分の考えとを比較し、新たな考えを導き出したりするなど、自分の考えを広め、深めていく姿が見られた。</li> </ul>